

# 静岡精華学園報

令和6  
2024  
春季

静岡福祉大学／静岡大成高等学校／静岡大成中学校／静岡精華幼稚園  
発行者:学校法人静岡精華学園 〒425-0063 静岡県焼津市本中根549-1 TEL.054-656-2100(代) www.s-seika.jp

SHIZUOKA  
SEIKA  
GAKUENHO  
VOL.7



## 新年度を迎えて

静岡精華幼稚園 副園長 谷澤徳子

4月11日、静岡精華幼稚園の入園式を行いました。50名の子ども達が、ちょっぴり大きめの制服に身を包み、保護者に手を引かれ入場してきました。入園式は30分程度で終わるものの、なぜここに座っていないかではないのか分からない子ども達にとっては長い長い時間の始まりです。そんな中、子ども達の泣き声、話し声、動きがぴたりと止



まり集中する時間が2つあります。1つ目は、園長の子ども達への言葉の時です。園長は大きなくまのプーさんのぬいぐるみを登場させ、そのぬいぐるみが子ども達に話しかけます。大きなプーさんに子ども達の目は釘付け!!思わず涙も動きも止まり興味津々の目が注がれます。2つ目は在園児代表の言葉の時です。お兄さん、お姉さんがステージに立つと、なにが始まるのだろう・・・とやはりステージに目が集中します。皆で一緒に手遊びをして楽しいひと時を過ごします。この子ども達、これからいろいろな経験を重ね、心身ともに大きく成長していくと思います。そして私たち職員一同、子ども達の成長を見守りながら、その一翼を担っていきたいと思います。

静岡精華幼稚園は今年、開園70年となります。私が精華幼稚園に就職した時、幼稚園は鷹匠町の別の場所に

## in-dex<sup>もじ</sup> vol.7

新年度を迎えて ①

初めての国際交流を実施 ②

新任紹介 ③

静岡大学教育学部との  
単位互換がスタートしました。 ④

国際交流活動の進捗と  
今後の取組について ⑤

大学ゼミ  
実践力の育成をめざす! ⑥

バレーボール部紹介 ⑦

中学生でBリーガーに!!  
サークル紹介

位置しており、制服はスモックでランドセル型の鞆でした。あれから38年、今の場所に園舎が移転し、制服も変わり、園バスも導入されました。そして、水曜日は半日保育でしたが全日保育となり預かり保育も始まりました。時代とともに状況に合わせて変化を遂げてきましたが、変わらない事もあります。

精華幼稚園では、ひとり立ちする子を教育目標に、3つの重点目標(経験・体験の幅の拡大、人間関係調整力の伸長、聞く態度・聞き取る力の育成)を掲げ子ども達に寄り添い、子ども達に軸足をおいた教育を行っています。また、子ども達の心身の安定には保育者

と保護者のコミュニケーションも大切です。開かれた幼稚園の中で子ども達、保護者の方々、職員、それぞれの繋がりを大切にして保育を行っています。今の時代、携帯一つでなんでもできてしまったり、AIの普及で便利さと危険が紙一重ようになっていたり、日々進化をしていますが、そんな時代だからこそ、人と人の繋がりを大切に10年先、20年先を見通しながらこの幼児期に施すべき教育を行って行きたいと思えます。

さて、今年度、静岡精華幼稚園に3名の新任職員が仲間入りしました。期待と不安の入り混じった新年度を迎えたこ



とと思います。最初は誰もが初めてからスタートです。上手いいかないことがあったとしても、笑顔で乗り越えていけるような環境づくりを私達先輩職員も心がけ、支えていきたいと思えます。また、今年度、精華幼稚園初の男性職員を採用しました。幼稚園に新たな風を吹き込んでくれることと期待しています。



## 静岡大成中学校

# 初めての国際交流を実施!

今年の1月26日に本校のスカイプラザにて、中学1年生の生徒が、中国にある延安新区外国語学校の生徒と交流会を行いました。1年生の生徒は、英語の時間に英語での対話練習や英語での会話ゲームを行い、この日のために準備をして臨みました。当日は、お互いの代表があいさつをして、記念品交換をし、校内見学をした後、スカイプラ



ザで生徒同士の交流会が始まりました。交流会では、英語で自己紹介をするすごろくゲームを行いました。最初はお互いに静かな感じで始まりましたが、時間がたつと身振り手振りを使いながら英語で話をしていて、楽しそうな雰囲気になっていました。中には、中国の生徒からもらったお土産の楽器を演奏した生徒もいました。交流会は1時間という短い時間ではありましたが、子どもたちの楽しそうな笑顔を見て、今後もこのような国際交流の場を設けられたらと思いました。



## introduction

### 新任紹介



静岡大成中・高等学校  
事務長・学園参事

### 岩瀬 通洋

Michihiro IWASE

昨年5月に、歴史と伝統のあるこの静岡精華学園にお招きいただき、静岡大成中学校・高等学校の事務長として務めさせていただいております。私はこれまでも教育関係の仕事に携わらせていただき、学校経営や運営の経験を重ねることができました。

仕事とは教育に限らず、常にその先にある正解を求めての「立案」と「選択」、そしてその究極としての「二者択一」の決断の連続であるものと思っています。しかしそんな時にも、私たち教育の場に身を置く者の明快な判断基準とは、「どの結論が生徒（学生、園児）の為になるものか」の一語に尽きるものだと思います。

私たちはこの様な重責を果たすために、常に多くの知識を求め、学び、また鋭い感性を磨いていく努力が必要です。それでこそ建学の精神である「時代に即応する新しい人材の育成」を目指す本学園の一員とさせていただけるものと思ひこれからも精進をいたします。皆様からのご指導ご鞭撻をいただけますと共に、いつでもお気軽にお声がけをいただければありがたいと願っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



### 長谷川 流楓 (写真左)

Ruka HASEGAWA ●静岡精華幼稚園

●担当学年: 年中(みどり組)

●本園職員としての抱負: 初めての先生ということで緊張や不安もたくさんありますが、環境に早く慣れ、たくさん子ども達と関わっていきたく思います。精一杯、頑張ります! ●趣味や好きなこと: スポーツ観戦・旅行 ●自己アピール: サッカーを長くやっていたので、身体を動かすことが得意です。たくさん子ども達と身体を動かして楽しみたいのです。

### 遠藤 和 (写真中)

Nagomi ENDOU ●静岡精華幼稚園

●担当学年: 年少(副担任)

●本園職員としての抱負: 子どもの関わりを大切に、職員、保護者の皆様と信頼関係を築いていきます。そのために、挨拶や礼儀等、怠らず行ってきたいと思っています。失敗を恐れず、何事にも挑戦していきます。●趣味や好きなこと: 趣味は音楽鑑賞と運動です。好きなアーティストやバンドのライブにもよく行ってました。元々剣道を行っていたので、時間がある時はリフレッシュを兼ねて行っています。●自己アピール: 持ち前の元気で明るさを生かし園庭でも身体をたくさん動かしたいと思います。子ども達とたくさん一緒に遊びたいと思います。

### 加藤 美紀 (写真右)

Miki KATOU ●静岡精華幼稚園

●担当学年: 年少(副担任)

●本園職員としての抱負: 子どもの育ち(自立)をサポートできるように大きな

声で頑張ります。これからの基礎となる幼児期に大切な経験ができるように、一緒に過ごす保育者として、環境作りを大切にしていきます。子ども達とともに楽しく過ごしていきたいです。●趣味や好きなこと: 映画鑑賞 ●自己アピール: こども園や保育園での経験をいかして精華幼稚園の教育に貢献していきたいと思っています。



静岡大成中・高等学校  
教諭

### 岡本 拓也

Takuya OKAMOTO

私は大成高校野球部の卒業生で、現在は野球部の副部長をしています。現役時代に成し遂げる事の出来なかった甲子園出場を目標に、日々選手と共に努力しています。趣味はトレーニングです。得意な種目はベンチプレスです。



法人本部  
会計課長

### 山里 良治

Ryouji YAMASATO

同級生は、(恐れ多くも)秋篠宮様、大榎克巳、岡村靖幸、奥田民生、尾崎豊、吉川晃司、小泉今日子、さくらももこ、中森明菜、橋本真也、長谷川健太、古田新太、堀池巧、吉田美和ほか(五十音順) 写真は矢沢B吉と飲んでるところです。



## 静岡福祉大学

# 静岡大学教育学部との単位互換がスタートしました。

静岡福祉大学 社会福祉学部長 長坂和則

昨年に静岡産業大学との単位互換を締結し、多くの学生が静岡産業大学の授業を楽しみ、学問の違う視点と学びに幅が出たと受講した学生からの声が届きました。

この4月からは、静岡大学教育学部との単位互換を締結いたしました。本学から静岡大学に単位互換の申し出を行い、これまでの静岡産業大学との経緯や単位互換科目の説明を実施いたしました。静岡大学でもいくつかある学部から、教育学部が他大学との実績があるということで、数回にわたる打ち合わせを実施し締結に至りました。本学の学生が教育学部の科目を受講することで、さらなる学びを深めることに期待をいたしております。

## 入学前教育の実施 (しずふくプレユニバーシティ)

静岡福祉大学では、今年度の入学前から入学前教育(学問サキドリプログラム)の実施や、いち早く大学に親しみ友達や仲間をつくってもらうために「ふれゆに(しずふくプレユニバーシ

ティ)」を実施しました。

最初は不安や緊張が高まる中、教室で各グループに分かれグループ内で他者を紹介するなどコミュニケーションしてお互いの理解を深めました。その後各グループで名前をつけ大学構内のチェックポイントを周り、ポイントを貯めてそれぞれがゴールしました。新入生のたくさんの笑顔に出逢えた一日となりました。

さらに、入学前オリエンテーションや保護者ガイダンスを実施し、学長あいさつから4年間の学びや就職率と就職先などをご紹介し、より静岡福祉大学を理解していただき、学生には入学式からスムーズな大学生活が送れるように準備をいたしました。

## 外部テスト GPS-Aの導入について

今年度から1年生と3年生に外部テストとなるGPS-Academicを導入いたしました。このテストは、大学生活はもちろん社会に出ても必ず必要とされる「問題解決力」を測るもので、「思考力」

「姿勢・態度」「経験」の3つの力を測定するものです。パソコンで受験をするとすぐに結果が出て、自分の思考力の高さなどAIが分析し、客観的に自分の強みや弱みを測定して、自分自身が可視化し理解できるシステムとなります。「自分の強み」などの自己理解を深めて、現場実習や就活に向けて活用が出来ます。またこのシステムは、本学の教務課やキャリア支援課などにも有効に活用ができ、学生と教職員が一緒に課題を考えサポートすることが充分可能となるシステムとなっております。

## 福祉基金協会の寄附講座の実施について

静岡福祉大学と静岡県労働者福祉基金協会が教育研究の充実を図ることを目的に、本学のカリキュラムとして寄附講座が設置されました。各企業の実践や生活に役立つ情報と知識を学ぶことが出来る講座となっております。学生の学びに大きな広がりが生まれました。

# 国際交流活動の進捗と今後の取組について

静岡福祉大学 社会福祉学部 福祉心理学科 准教授 田中秀和

## 韓国視察

令和5年1月12日に韓国・東国大学校 WISEキャンパス（慶州市）と静岡福祉大学が協定を結んで以降、本学では、これまでに韓国視察や共同プログラムの実施などを通して徐々に国際交流事業を深めていきました。

協定を結んだその夏、増田学長と教職員5名で東国大学校を訪問した際には、李映庚（イユンギョン）総長と国際交流スタッフの温かな歓迎を受けました。視察プログラムの国際交流論議では、本学が提示したオンライン交流会や韓国研修などの交流企画を快諾していただき、今後、相互の交流を発展していくため連携を深めていくことを確かめ合うことができました。

## 国際交流マインドセット・特別講義の開催

本学学生の海外への関心・意識を高めるきっかけとして、令和5年10月11日（水）に1年生の必修授業の中で特別講義「グローバル時代を生きるワクワク感」を開催しました。講師に株式会社アイエスエイの平田敏之氏をお招きし、「変化する世界のなかで、自分らしい生き方をすることが大切であること」「新しいこと新しい場所に勇気を持って一歩踏み出すことは、世界の変化に柔軟に対応できる力に繋がること」など熱いメッセージを学生へ伝えていただきました。学生からは「小さなことでも勇気を出してチャレンジすることが大切だと思った」「好きなこと、得意なことを伸ばしていきたい」「海外に行って視野を広げたい」「背中を押された気分になった」など前向きな声が多くありました。

## 東国大学校とのオンライン交流会の開催



韓国視察以降、東国大学校の国際交流スタッフとオンライン会議などで協議を重ね、令和6年3月19日（火）に協定校と初の試みとなるオンライン交流会「日韓グローバル地産学協力セミナー」を開催することができました。双方大学・高校の教職員・学生・生徒、市職員が参加し、学校や地域の魅力について紹介をしました。学生同士の交流の第一歩として始まった企画は、協定校との交流だけでなく、国際交流を通して高大連携、地域連携に繋げることができました。

<参加機関>

韓国：東国大学WISEキャンパス（教員及び学生）、慶州女子情報高等学校、慶州市庁

日本：静岡福祉大学（教員及び学生）、静岡大成高等学校、藤枝市役所

## 今年度の韓国研修に向けて

今夏、東国大学校の協力のもと国際交流委員会では韓国3泊4日のスタディツアーの実施を予定しています。初めて海外に行く学生たちが楽しく学べるよう、学



生同士の交流や福祉施設・保育所等見学などのプログラムを立てています。

韓国、東国大学校との協定をきっかけに再スタートを切った本学の国際交流事業は、海外に関心を向ける学生たちに日本から一歩踏み出したからこそ新たな人との出会いを促し、多様な言語、生活に触れる海外経験を4年間の学生生活の中で提供できるよう努力を重ねていきます。



## 実践力の育成をめざす!



静岡福祉大学 子ども学部  
子ども学科 講師

### 小林 広昭

小学校の現場に37年勤務し、2022年度より子ども学部で講師をしております。専門は、算数教育、学校経営等小学校教育関連の科目を担当しております。それ以外にも保育、幼児・児童教育についての学びを開始する1年生全員と基礎セミナーⅠ・Ⅱ、保育

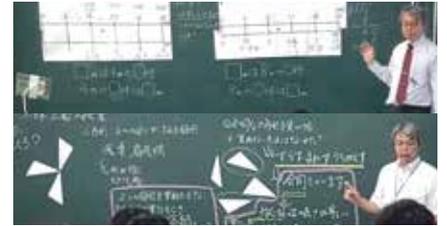
実践入門という科目でかかわっています。

卒業ゼミでは、小学校現場に行き、実際に授業を参観して学ぶことをしています。さらに、私が小学生相手に行った授業や学生が教育実習で行った授業をビデオ撮影し、その記録を起こすことを通して多くの気づきを促しています。印象的な記憶だけでなく様々な記録から学び直す活動は、多くのことに気づくことができ、それが学生の力になっていくと考えています。教育実習の事前指導でも「記憶よりも記録、子どもの行動、表情、先生の言動、指導の工夫、自分の行動、感じたこと、考えたことをできるだけ記録すること」と繰り返し話しています。教えられて学ぶだけではなく、自ら気づき、学ぶことを大切にしています。

また、教員採用試験対策として行ってい

る教職講座では、試験対策と面接対策を行っています。もちろん、教員採用試験合格をめざしているわけですが、そこはゴールではなく通過点に過ぎません。常々学生にも話していますが、めざすのは、教育に携わるものとしての実践力を養うことです。もちろん学生ですから、すぐに現場に出て通用するわけではありません。でも、子ども、先輩、同僚から多くのことを吸収し、学び続ける姿勢と子どもの成長を願う情熱を養っていくことで、自らがめざす教師像へ近づいていけると考えています。

もちろん、大学では理論的なことを学ぶわけですが、その理論と実践を結びつけ、子どもに向き合ったときに生きて働く実践力を育成したいと考えています。



## 静岡大成中・高等学校

### VolleyBall

高校3年 主将  
長南 宥人  
(令和3年度大成中卒業)

静岡大成中学・高校男子バレーボール部は『県ベスト4・東海大会出場』を目指して日々活動しています。私は、大成中学から大成高校に進学しバレーボール部に6年間在籍しています。

中学の時は、グリーンコートを使っての屋外の練習がメインでした。練習の多くをレシーブ力の強化に取り組みました。監督の山本順平先生の丁寧な指導により、基礎からしっかりと身に着けることができました。夏の厳しい暑さの中での体力トレーニングや冬の冷たい風が吹く中での練習を乗り越え、一級上の先輩たちと県大会準優勝という素晴らしい成績を残すことができました。残念ながらコロナウイルスの影響

で初出場となる予定だった東海大会は中止になってしまいましたが、決勝戦でこのはなアリーナのセンターコートに立ちプレーできたことは、とても良い経験ができました。それだけではなく、平日の部活動が終わった後には、スターライトがあります。文武両道についても学べた3年間でした。

高校では、サーブ・レシーブ・ブロックの練習を徹底的に行い、高いディフェンス力を目指して取り組んでいます。監督の古木康昌先生やコーチの増田和久さんの指導の下、基礎基本や戦術的な対応の仕方を身に着けることができました。また、昨年度よりビーチバレーにも取り組んでいます。硬い床とは違い、足元が不安定な砂の上で



3年長南宥人、アタッカー：3年鈴木琥太郎



2年古木康誠、右：3年長南宥人

のプレーは、足腰が鍛えられ瞬発力と持久力が身に付きました。そして、風という自然とも戦わなくてははいけません。ボールが風で変化するため、より一層丁寧なパスが必要になってきます。さらに、二人で試合をするため、常に味方を気にかけてプレーをしなければボールが繋がりません。これらの技術や意識は、インドアに戻ってからも心掛け、さらにディフェンス力と連携プレーをレベルアップさせることができました。加えてビーチバレーを行っていく中で、私と高

校2年の古木康誠(大成中出身)が静岡県の代表として愛知県で行われた大会に出場しました。レベルの高いペアと試合を行うことで、多くの反省点が見つかり、特に



3年村川巧

ディフェンス面で大きな収穫を得ることができました。

今、私たちはインターハイ予選に向けて練習に取り組んでいます。前回の新人戦で自



分たちのミスから終盤に逆転を許し負けてしまった相手にリベンジを果たし、中部地区ベスト4に入り県大会で目標達成できるように頑張っていきたいと思います。



## B-LEAGUE

Hibiki YAMADA



## 中学生でBリーガーに!!

昨年度、中学3年A組に所属していた山田響さんが、日本のプロバスケットボールチーム、B2西地区の静岡のチームである、ベルテックス静岡の2023-2024シーズンユース育成特別枠選手として登録されました。1月20日(土)のパンビシャス奈良戦よりエントリーされ、Bリーグの選手とともにコートに立ちました。山田さんは、中体連が終わった夏ごろからベルテックス静岡U15に入団し、常にチーム全体に声をかけたり、練習にも一切手を抜かず、後輩の模範になる選手だったとベルテックス静岡U15のコーチが話されていました。トップチームに入ることは、ユース生にとっては憧れであり、刺激の多いものだと思います。そのような機会を与えてもらった山田さんはきっと今後の高校のバスケットボール生活でもこの経験を元に頑張ってくれると期待しています。



## Circle

7-718紹介

## Light Music

軽音楽

軽音サークルのサークル長をやっている社会福祉学部福祉心理学科3年の大神田です。軽音サークルは、部員数が約25名、バンドごとに相談して活動しています。音楽を通じて学校生活を豊かにする。楽器演奏はもちろん、同じ趣味の仲間同士交流を深めて活動しています。

### ●サークルに入った理由

邦ロックのライブやフェスに行くのが好きで楽器に興味を持ち軽音サークルに入りました。

### ●サークル長になった経緯

軽音サークルをもっと盛り上げていきたいと思い自分から立候補しました。

### ●サークル長の大変なところ・勉強になったところ

どうすればライブに来てもらえるか、聴きに来てくれる人を集められるか、どうしたら楽しんでもらえるのかを考えると大変であり、勉強になりました。

### ●今後どういったサークルになって欲しいですか

大学内だけでなく地域の人たちにも静岡福祉大学の軽音サークルを知ってもらい地域を盛り上げるサークルにしていきたいです。



## Base Ball

野球サークル

野球サークルのサークル長をやっている社会福祉学部健康福祉学科3年の望月です。野球サークルは、部員数が選手約20名、マネージャー約10名です。活動日はみんなの授業のスケジュールに合わせて週に1度放課後グラウンドで行っています!

僕たちは「野球を楽しむ!」をモットーに日々活動しています。高校野球をやってきた人、中学まで野球をやっていて大学でまたやりたいという人、初心者だけど野球が好き!やりたい!という人、いろんな人が集まり野球を楽しんでいます。週1回の練習日と週末の試合が主な活動で、大会には積極的に参加しています。また、マネージャーでもキャッチボールなど野球を楽しんでもらう機会があります!部員全員が野球というスポーツを楽しめます。是非!一緒に野球を楽しみましょう!

### ●サークルに入った理由

野球が好きなので野球サークルに入りました。

### ●サークル長になった経緯

昨年は年に一度だけであり、サークル長を引き継ぐ人が私しかいなかったので野球サークル長を任される形になりました。

### ●サークル長の大変なところ・勉強になったところ

チーム作りです。



## 令和6(2024)年4月～令和6(2024)年9月 学校法人静岡精華学園行事予定表

4月	April	5月	May	6月	June	7月	July	8月	August	9月	September
1 月		1 水		1 土		1 月		1 水	職員研修会(中・高)	1 日	
2 火	入学式(大)	2 木	遠足(高) こいのぼりの集い(幼)	2 日		2 火		2 金		2 月	始業式(幼・中・高) 引渡し訓練(幼)
3 水		3 金	(祝)憲法記念日	3 月		3 水		3 土	オープンスクール(中・高)	3 火	
4 木		4 土	(祝)みどりの日	4 火		4 木	遠足(中)	4 日	オープンキャンパス(大) オープンスクール(中・高)	4 水	
5 金		5 日	(祝)こどもの日	5 水		5 金	七夕の集い(幼)	5 月		5 木	
6 土		6 月	(祝)振替休日	6 木		6 土		6 火		6 金	
7 日		7 火		7 金	交通教室(幼)	7 日		7 水		7 土	第2回園児募集説明会(幼) 保護者会(大)
8 月	入学式(中・高)	8 水		8 土	桜瀬祭(中・高) オープンキャンパス(大)	8 月		8 木		8 日	
9 火	始業式(中・高)	9 木		9 日		9 火	第1回園児募集説明会(幼)	9 金		9 月	
10 水	始業式(幼)	10 金	PTA総会(中・高)	10 月		10 水		10 土		10 火	クラス意見発表会(中・高)
11 木	入園式(幼)	11 土		11 火		11 木		11 日	(祝)山の日	11 水	
12 金		12 日	家族遠足(幼)	12 水		12 金		12 月	(祝)振替休日	12 木	
13 土		13 月		13 木		13 土	オープンキャンパス(大)	13 火		13 金	
14 日		14 火		14 金		14 日	オープンキャンパス(大)	14 水		14 土	
15 月		15 水		15 土		15 月	(祝)海の日	15 木		15 日	祖父母参観(幼)
16 火		16 木		16 日		16 火	静岡福祉大学見学会(高) 年長お泊り保育(幼)	16 金		16 月	
17 水	春の遠足(幼)	17 金		17 月		17 水	中1イングリッシュ トレーニング(中)	17 土	オープンキャンパス(大)	17 火	
18 木		18 土		18 水	後援会(大)	18 木		18 日		18 金	(祝)敬老の日
19 金		19 日		19 木		19 金	終業式(中・高)	19 月		19 水	
20 土		20 月	修学旅行(中)	20 水		20 土		20 火	高3就職セミナー(高)	20 金	前期卒業式(大)
21 日	オープンキャンパス(大)	21 火	修学旅行(中)	21 金		21 日		21 水		21 土	
22 月		22 木	修学旅行(中)	22 土		22 月		22 金		22 日	
23 火		23 金	修学旅行(中)	23 日		23 火		23 土	卒園生の集い(幼)	23 月	オープンキャンパス(大)
24 水		24 土	開校記念式典(中・高)	24 月		24 水		24 日		24 火	(祝)秋分の日
25 木		25 土		25 火		25 木	精華夏まつり(幼)	25 日		25 水	(祝)振替休日
26 金		26 日		26 水		26 金		26 月		26 木	
27 土		27 月		27 木		27 土		27 火		27 金	
28 日		28 火	防災訓練(中・高)	28 金		28 日		28 水		28 土	新体力テスト(中・高)
29 月	(祝)昭和の日	29 水		29 土		29 月		29 木		29 日	
30 火	PTA総会(幼)	30 木		30 日		30 火		30 金		30 月	
		31 水				31 土		31 日			

注:(幼)=幼稚園(中)=中学校(高)=高校(大)=大学 行事の予備日については各組織にお問い合わせください

編集後記  
S E I K A

子どもたちの笑顔を見ると嬉しくなる。私たち教師は子どもたちの笑顔に励まされ、教育という仕事に日々打ち込んでいる。家出した生徒を夜中まで当てもなく探し回っている時、電話で泣いて助けを求める生徒のもとへ車を走らせている時、万引きで捕まった生徒を引き取りに行く時、心配で胸が潰されそうになりながらも、いつか彼女たちの笑顔を見ることができると信じて頑張った若い日のことを思い出す。本号表紙の園児の笑顔は、そんな私たち教師に限りない勇気を与えてくれる。この子たちの未来を明るくするために、私たちの日々の仕事があることを肝に銘じたい。

さて、中学や大学の国際交流活動・大学の静大教育学部との単位互換開始など、学園内の各学校で活発な取り組みが始まっている。私学の経営を脅かす少子化の波は、本学園にも深刻な影響を及ぼすだろう。しかし、それを乗り越えるための最低条件が、園児・生徒・学生の未来を明るくしようとす教師・職員たちの熱意と頑張りであることは間違いないし、それが理念を同じくする人々が集った私学の強みでもある。希望を持ち、前を向いて歩こう。

編集部 S・W

●お知らせ 連載中の「空襲と飢餓に耐えた戦時の女学生たち」(勝又千代子氏)は、11月刊行予定の秋号に紙面を拡大して掲載致します。ご期待ください。

backnumber

バックナンバーをご覧になりたいお方はQRを。



R3 Vol.01



R3 Vol.02



R4 Vol.03



R4 Vol.04



R4 Vol.05



R6 Vol.06



## 静岡福祉大学

「共に生きる」を教育理念とし、世代や関係を越えて(いのち)のつながりを尊び、地域や環境のあるべき未来を探求し、共生を実現していく人材を育成します。



## 静岡大成高等学校

生徒一人ひとりの進路希望を実現させる2つのコースを設定。文理選択や進路系統別科目選択により将来の夢に直結する学びを深めています。



## 静岡大成中学校

学力向上のためのスターライトクラスや英語プログラムといった主体性のある学びを通じ本校ならではの意思のある教育を展開しています。



## 静岡精華幼稚園

社会体験・自然体験を重視している元気で明るい幼稚園です。体験の幅の広がりや密度の濃さが、確かな学びと育ちをもたらす小中学校へとつなげます。

## 学校法人静岡精華学園へのご寄付のお願い

# 「時代に即応する新しい人材の育成」をめざして 未来に向かって着実に歩みつづけます

日頃、静岡精華学園の教育活動に対し、多くの皆様のご配慮とご支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。本学園の創設者である杉原正市は「時代に即応する新しい女性の育成」という理念を掲げ、静岡県における女子教育のパイオニアとして明治36（1903）年、本学園の前身である私立静岡精華女学校を創設しました。その後、本学園は「時代に即応する新しい人材の育成」を建学の精神とし、静岡県内では伝統ある教育機関として今日まで歩んでおります。本学園は私立学校ならではの特色ある理念に基づき、これまで百十有余年間にわたり優秀な人材を社会に送り出してまいりました。教育は人なりと申します。学園報でご紹介しましたように、本学園は園児生徒学生一人ひとりの人格と個性を大切に、すべての若者たちが生き生きとした学園生活を過ごすことができるよう教職員の一人ひとりが真剣に教育活動に携わり、学園を支えております。

こうした伝統をさらに継続するためには、少子化という社会情勢を踏まえ長期的な安定した財務基盤が欠かせません。そこで卒業生の皆様、企業・団体でご活躍の皆様におかれましては、趣旨にご理解を賜り、本学園へのご寄付を賜りたくお願い申し上げます。皆様からお寄せいただいたご寄付は学園の教育環境の一層の充実に活用させていただき、本学園ならではの良き伝統を今後も継続してまいります。

令和6年5月吉日

学校法人静岡精華学園理事長

杉原 桂子

### 募金事業内容

○目的 教育環境の充実

○使途

- ・静岡福祉大学教育環境整備募金
- ・静岡大成中学高等学校教育環境整備募金
- ・静岡精華幼稚園教育環境整備募金
- ・使途を限定せず

○寄付金額 1口3,000円以上（口数にかかわらずお受けさせていただきます）

○お申込み方法（税制上の優遇措置もあるため、お手数ですが先にお申込みをいただいてからのお振込みとなります。）

- ・下記宛にメール等でお申込みください。お知らせいただいたご連絡先に振込先のご案内等をさせていただきます。
- ・ホームページを通じた申込みも可能です。サイトアドレス：<https://s-seika.jp/>

○寄付者のご芳名は静岡精華学園報でご報告させていただきます。（公表を希望されない方は「匿名希望」と表記）

〒425-0063 静岡県焼津市本中根549-1 学校法人静岡精華学園 法人本部

電話：054-656-2100 メール：honbu@suw.ac.jp

#### ●お申込みに必要な項目

1. 氏名
2. フリガナ
3. 郵便番号と住所
4. 電話番号
5. メールアドレス
6. 寄付金額
7. 寄付金の使途
8. 本学園とのご関係  
卒業生 保護者 教職員 その他
9. ご芳名の掲載  
承諾する 匿名を希望する
10. 「静岡精華学園報」の送付  
希望する 希望しない

#### 税制上の優遇措置について

本学園は文部科学省より特定公益増進法人の証明書の交付を受けていますので、個人様の場合、寄付金に対しては以下のように所得から控除され、税法上の優遇措置を受けることができます。

**その年中に支出した寄付金－2千円を所得より控除。  
なお寄付金の額は総所得の40%が限度となります。**

#### ご寄付の御礼

令和5年10月から令和6年5月の間に、以下の皆様からご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。

- ・原 彰秀 様
- ・熊本 淳 様
- ・湯倉 光頭 様
- ・杉田 泰子 様
- ・静岡精華・大成同窓会有志一同 様
- ・藤枝支部同窓会有志一同 様
- ・太田 晴康 様

（順不同。他、匿名希望6名様）

※ご寄付に際して提供いただきました個人情報は、ご寄付に伴う目的にのみ使用し、許可なく第三者に提供することはありません。